



(株)津軽りんご市場営業だより 第51号 H28.5

生産者の皆様へ

発行：(株)津軽りんご市場
TEL 0172-72-1211

日頃、ご愛顧いただきまして有難うございます。

今年度も当社情報誌を引き続き発行することとなりました。生育状況、肥大調査等様々な情報を提供していきたいと思っておりますので、読んでいただければ幸いです。

～ 津軽地区 生育状況 ～

今年は1月中旬、2月下旬と気温が平年より低かったが、それ以外は平年並みから高く、3月下旬は最高気温が13.2℃と平年より6.4℃高い日もあり観測史上第1位であったことから、各品種とも平年に比べ3～4日早い開花となりました。(満開日は平年に比べ、5～6日早い)

～ 本県 りんご開花日 ～

品 種		本 年	平 年	前 年
つがる	開花日	5 / 4	5 / 8	4 / 29
	満開日	5 / 8	5 / 13	5 / 2
ジョナゴールド	開花日	5 / 3	5 / 7	4 / 28
	満開日	5 / 7	5 / 13	5 / 1
王 林	開花日	5 / 3	5 / 6	4 / 27
	満開日	5 / 6	5 / 12	5 / 1
ふ じ	開花日	5 / 4	5 / 8	4 / 29
	満開日	5 / 8	5 / 13	5 / 2

<りんご研究所(黒石市)調べ>

～ 市場からのお知らせ ～

(株)津軽りんご市場 売上100億円達成記念謝恩

「吉 幾三ショー」

6月14日(火) 津軽りんご市場特設会場にて

昼の部：14時開演 夜の部：18時開演

～ ヒオモン水溶剤によるつる割れ軽減対策 ～

開花が早く大玉になりやすい年や、例年つる割れの多い園地では、ヒオモン水溶剤3,000倍液を満開20～30日後散布で、つる割れの発生を軽減できる。

使用にあたっては次のことに留意する。

- ① ふじ・早生ふじに単用散布する。
- ② 散布後、葉がしおれる症状を示すが、1週間後頃にはほぼ回復する。
- ③ 高温・乾燥時、樹勢の極端に弱い樹への散布は避ける。
- ④ 果実肥大が抑制される場合がある。
- ⑤ 新梢の二次伸長を助長する場合がある。
- ⑥ 摘果剤散布後にヒオモンを散布した場合、摘果剤の効果が抑制される。
- ⑦ 散布時期は満開から20～30日後。

本年ふじの満開日は黒石で5月8日である。散布の目安となる満開から20～30日後は5月28日～6月7日頃になる。

使用時期	使用回数	成分総使用回数	倍 数	10a 散布量	備 考
満開から 20～30日後	1回	3回以内	3000倍	300～600ℓ	展着剤不要

～ 津軽りんご市場連絡協議会

平成28年度 スローガン ～

- 一. 交配・摘花・摘果を徹底し、高品質・安定多収生産に努めよう！
- 一. 品種の収穫適期を見極め、食味の良いいりんご生産に努めよう！
- 一. 選果基準を守り、上下差の無い選果に心掛けよう！